

キャタピラー

適用範囲		モデル名	D3			
		仕様	LGP			
		適用号機	XT500001~			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値		
エンジン	エンジン本体 【電子制御式】	エンジン回転速度		2100		
		ハイアイドル回転速度	min ⁻¹	950		
		ローアイドル回転速度	min ⁻¹	—		
		トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	(°C) (°C)	(70~80) (80~90)		
	エンジン油圧	kgf/cm ² KPa	375~ (60~70)			
	(油温) (回転速度)	(°C) (min ⁻¹)	(1800-2400)			
	弁すき間		0			
	吸気弁 隙間	mm	0			
	排気弁 隙間	mm	0			
	(測定条件)		(冷間時)			
圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差 (冷却水温) (回転速度)	kgf/cm ² KPa	350 (—)				
(冷却水温) (回転速度)	(°C) (min ⁻¹)	(—)				
燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	kgf/cm ²	設定なし			
		KPa	(コモンレール)			
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	設定なし			
	[測定位置・条件] [kgとNの両方で表記]	[N]	(自動張り調整)			
動力伝達装置	クラッチペダル又はインチングペダル	ペダルの遊び取り付け高さ	c m	—		
		ペダルの遊びとストローク	c m	—		
		ペダルの全ストローク	c m	—		
	走行ミックス油圧	主クラッチ型	ブースタ油圧	MPa	—	
		ダイレクトシフト型	ミッション潤滑油圧	KPa	—	
		流体継ぎ手型	トルコン油圧	kg/cm ²	—	
			ミッション潤滑油圧	KPa	—	
			クラッチ油圧	kg/cm ²	—	
		(ミッション油温)	(°C)	—		
	(エンジン回転速度)	(min ⁻¹)	—			
プロペラーシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kg・m	—			
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク	c m	—		
		レバーの全ストローク	c m	—		
	ステアリングクラッチ油圧	MPa	—			
	(油温) (回転速度)	kg/cm ² (°C) (rpm)	—			

キャタピラー

適用範囲		モデル名	D3		
		仕様	LGP		
		適用号機	XT500001~		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値	
走行装置	クローラベルト	ベ ル ト	張り(たわみ量)	mm	—
			測定方法・条件 (図面番号表示)		
		鉄 シ ユ ー	張り(たわみ量)	mm	図1参照
			測定方法・条件 (図面番号表示)		
		リンクピッチの伸び	mm	—	
		測定方法・条件 (図面番号表示)			
		履板取付ボルト 締付けトルク	N・m kg・m	170±40 180±5°増し締め	
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力	床面勾配 1/5以上	—	
作業装置	シ リ ン ダ ー 自 然 伸 縮	ブルドーザー	ブレードリフトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	17mm/5分 地面から254mm
			ブレードチルトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	33mm/5分 チルト左一杯
			リッパースタックシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	6mm/5分 地面から254mm
		リッパースタックシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	
		ドーザー・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—
			バケットシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—
	(作動油温)		(°C)	—	
	作 業 機 速 度	ブルドーザー	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	2.2±0.3秒 地面~最大
			リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	1.3±0.2秒 地面~最大
		ドーザー・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	—
リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)			秒	—	
		(作動油温)	(°C)	—	
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力	kg/cm ² MPa	20.6±0.9 (38~65)	
		(作動油温)	(°C)	—	
備考					

★印：新車基準値を表す。

項目	測定方法
<p>図1. 履帯調整方法</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 車両をその全長の2倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。 2. バルブ・カバーを取外す。（図は開けた状態） 3. トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ（1）からマルチパーパス・グリース（MPGM）を充填する。 <p>トラックを緩める場合、リリーフ・バルブ（2）を反時計方向に回す。</p> <p>次に、トラック調整バルブ（1）を1回転させて開けて、グリースを逃がす。</p> <p>その後、リリーフ・バルブ（2）を閉めてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. バルブ・カバーを閉じる。 6. 反対側の履帯に同様の作業を行う。 <div data-bbox="353 483 728 726" style="text-align: center;"> </div>